



おうちでできる対話力アップ法 ～子どもの考える力を家庭からもサポート～

研究主任

本校では今年度、「主体的・対話的に学びを深める児童の育成 一国語科『話すこと・聞くこと』を軸に一」をテーマに授業づくりの研修を進めています。ねらいは、「自分の考えをもち、友達とのやりとりを通してさらに考えを深められる子」を育てることです。友達の話をしつくり聞いて意見を取り入れることや、自分の意見と比べ、違いや新しい視点に気付くことを大切にしています。また、週に1回、学年や発達段階に応じた「話す・聞く」の活動を行っています。国語はもちろん、算数・理科・社会などあらゆる教科の中で生かせる対話力を育てます。そこで、家庭でもできる会話の工夫を紹介します。

<家庭でできる“3つの工夫”>

1. 意見を尋ねる（ニュースや身近な出来事について、「あなたはと思う？」と聞く。）
2. 理由を聞く（答えが返ってきたら、「そう思った理由は？」と尋ねる。）
3. 違いを楽しむ（家族の意見と比べ、「同じところ」「違うところ」を見つける。）

<会話の例> 親：「今日、学校でどんなことがあったの？」

子：「図工でみんなで大きな絵を描いた」

親：「それ、やってみてどう思った？」

子：「楽しかった」

親：「どうして楽しかったの？」

子：「友達と相談しながら描けたから」

親：「そっか。じゃあ、一人で描くときとどんなところが違った？」



このように、会話を広げる質問を意識するだけで、考える力がぐんと伸びます。

「自分の考えを相手に正しく伝える力や相手の考えを受け入れ自分の考えを深める力」は、これからの時代を生きていくために欠かせない力です。学校と家庭、両方からのサポートで、子どもたちの学びを一緒に深めていきましょう。

第6区域音楽交流会 ～心をついに、合唱・合奏！～

5年担任

5年生は、戸出西部小学校、戸出東部小学校との3校合同による音楽交流会に参加しました。1学期末から練習に取り組み、合唱曲「ビリーブ」「ふるさと」、合奏曲「ラ・バンバ」を披露しました。また、他校の合唱・合奏を聞くことで、声の出し方や演奏の仕方等が学べた実り多い一日となりました。19日（日）の学習発表会でも、みんなで心をついに、ステージ発表をがんばります。

【子供たちの感想から】

- ・自分たちも他の学校も、練習した成果をすごく出せていたと思います。自分たちの力を学習発表会でも出して、一番いい演奏にしたいと思います。
- ・せりふを少しかんでしまったけれど、合唱と合奏を上手にやりきれました。今日できなかったところを、さらに練習して学習発表会で出し切りしたいと思います。
- ・合唱では大きな声、きれいな声で歌えてうれしかったです。合奏では、笑顔で演奏できました。笑顔を心がけると、ミスなく演奏できました。学習発表会でも、笑顔で歌ったり演奏したりしたいです。

